東京しごとセンター共催

厚生労働省委託　在宅就業者総合支援事業

在宅ワークセミナー
実践編

開催日：２０１１年１０月１３日

13：00～　第1部

「Web・モバイルの動向と在宅ワークの可能性」

対談

■田澤由利

株式会社ワイズスタッフ　代表取締役

株式会社テレワークマネジメント　代表取締役

■岡田直子

株式会社ネットワークコミュニケーションズ

14：20～　休憩

プロフィール

田澤由利(たざわ　ゆり)

株式会社ワイズスタッフ　代表取締役
株式会社テレワークマネジメント　代表取締役

1962年奈良県生まれ。上智大学外国語学部イスパニア語学科卒業。シャープ株式会社にてパソコンの技術、企画、販売促進等の業務に従事したが、結 婚・出産によりやむなく退職。その後、フリーライターとして独立し、3人の娘の子育て、夫の5度の転勤による引越しを経つつ、SOHO（テレワーカー）とし て、パソコン関連の書籍や雑誌の執筆を行う。
1998年、インターネット上で会社を運営する「ネットオフィス」を実践するため、夫の転勤先であった北海道北見市にて、株式会社ワイズスタッフを設立。2004年に2番めの拠点として奈良オフィスを開設し、翌年株式会 社へ組織変更。現在、インターネット上で、海外を含む全国各地のテレワーカーであるスタッフ約140名とともに、50以上のプロジェクトを同時に運営して いる。主な業務内容は、ホームページ制作・メールマガジン編集・マーケティングなど。
テレワーカーの労働力を適切に生かすには、マネジメントが重要であるという思いに至り、2008年9月、株式会社テレワークマネジメント設立。
女性はもちろん、地方在住者、高齢者、障がい者も「ネットで働ける社会」を実現することをライフワークとして取り組んでいる。

自己紹介

- 第3回ワーク・ライフ・バランス大賞奨励賞
- Japan Venture Awards 2008 起業家部門 奨励賞
- 福田総理大臣（当時）へ女性864人の生の声と政策を提言
- テレワーク協会　第9回テレワーク推進賞　奨励賞
- 経済産業省「ハイ・サービス日本300選」に選定
- アメリカ国務省の招聘で
  「インターナショナル・ビジター・プログラム」でアメリカ視察
- 日経地域情報化大賞2008「日経産業新聞賞」受賞
- 日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2009」
  リーダー部門7位受賞

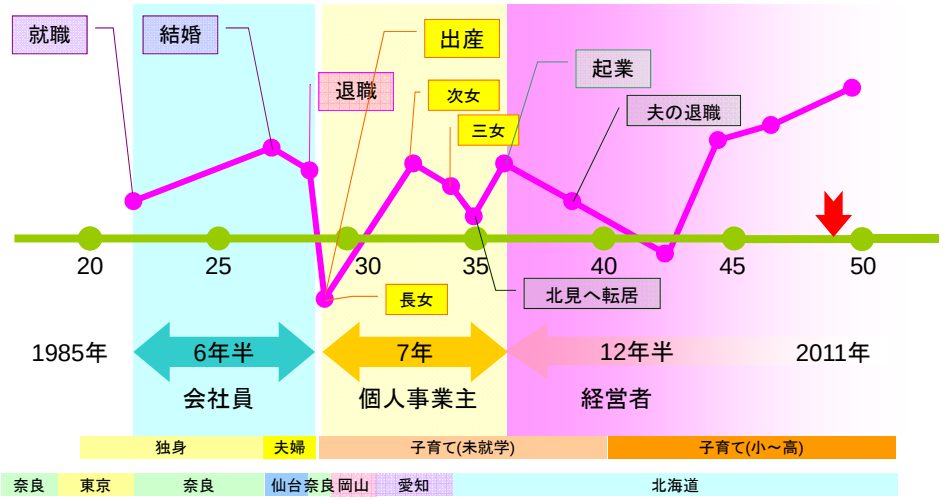
・総務省 地域情報化アドバイザー
・厚生労働省 在宅就業市場検討委員会委員
・北海道 北海道総合開発委員会参与
・北海道 本人確認情報保護審議会委員
・ 北海道 北海道の将来の道づくり検討会
・奈良県 結婚ワクワクこどもすくすく県民会議委員
・NHK 北海道地方放送番組審議会
・ 社団法人 日本能率協会 北海道地域評議員
・社団法人 北海道総合研究調査会地域貢献活動推進委員会委員
・社団法人 北海道観光振興機構 女性アドバイザリー・ボード
・奈良のむらづくり協議会　副代表幹事
・特定非営利活動法人 奈良NPOセンター理事
・ NPO法人 電子自治体アドバイザークラブ理事

田澤由利のテレワークブログ

http://telework.blog123.jp/

私の働くモチベーション曲線

「日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー」記事より



様々な就業形態、さまざまな地域での、仕事と生活を経験してきました

プロフィール

会 社 名	株式会社ネットワークコミュニケーションズ
代 表 者	代表　岡田直子（おかだなおこ） 広島県広島市出身。 神戸女学院大学文学部英文学科卒業。 外資系メーカーにて営業として勤務した後、ソフトウェア開発のベンチャー企業に転職。営業を経験。同時に立教大学大学院ビジネスデザイン研究科にてMBA取得。 その後、価格比較サイトを運営する株式会社ECナビ（入社当時：株式会社アクシブドットコム）に入社。広報機能を立ち上げる。広報の立ち上げから1ヶ月で新聞、インターネットなどへの露出が増え、現在ではテレビや雑誌、新聞などで毎週のように情報が取り上げられるようになる。後、経営本部長、広報室長を経て2009年3月末に退社。同年7月に株式会社ネットワークコミュニケーションズを立ちあげる。 2011年6月1日より、社団法人オープンソースソフトウェア研究所理事。
事業内容	ベンチャー企業の広報立ち上げ支援事業 （コンサルティング、実行、広報担当者育成）
設　立	2009年7月1日
事務所	〒111-0034　東京都台東区雷門2丁目19-17　浅草雷ービル614 TEL:03-3843-2730　FAX:03-3843-2730
ミッション	日本に存在する知られざる名サービス・名企業を世の中に日本をはじめとして世界に広めること
趣味など	琴・三味線、スキューバダイビング、シュートボクシング。浅草在住。

メディア露出例（以下、テレビの例）

インターネットの普及により、増えてきた在宅ワーカーの市場

アウトソーシングから、クラウドソーシングの時代に。
企業に勤めなくても、在宅ワーク斡旋を行う企業を
介しての在宅ワーカーの需要が増えてきている。
個人だけでなく、プロジェクトチームを組む仕事も増加！

【クラウドソーシングとは】by Wikipedia

クラウドソーシング（英語: crowdsourcing）は、不特定多数の人に業務を委託するという新しい雇用形態。ウェブサービスのトレンドの一つでもある。群衆（crowd）と業務委託（sourcing）を組み合わせた造語で、アメリカなどでは、クラウドソーシングのサービスやビジネスが数多く立ち上がっている。
従来、アウトソーシングという形で企業などが、外部に専門性の高い業務を外注するというトレンドがあった。しかし、昨今では、インターネットの普及により社外の「不特定多数」の人にそのような業務を外注するというケースが増えている。それらを総称し、クラウドソーシングと呼ばれている。知的生産力やコンテンツなどを、多数の人々から調達・集約し、事業成果を得ることを目的にしている。
たとえば、P&Gは商品開発に、ボーイングは機体組み立てにそのような手法を取り入れている

7

厚生労働省委託 在宅就業者総合支援事業
在宅ワークセミナー（実践編）

インターネットの普及により、増えてきた在宅ワーカーの市場

Web単純作業系
- 口コミ作成
- 記事作成
- ブログ立ち上げ・記事投稿
- トラックバックリンク作成

創作・スキル系
- ビジネスモデル
- ロゴ・ネーミング
- Facebookページ作成
- SNSサイト制作
- ECサイト運用
- スマートフォンアプリケーション開発

従来型単純作業系
- データ入力
- データ収集
- テープ起こし

新領域単純作業系
- バグチェック
- ソフトウェアテスト

成果報酬型・スキルや創作性が必要な仕事は単価も高く、
今後企業が発注するようになる可能性が高まっている。

8

Web最新動向： 実名登録で利用するSNS Facebook（フェイスブック）

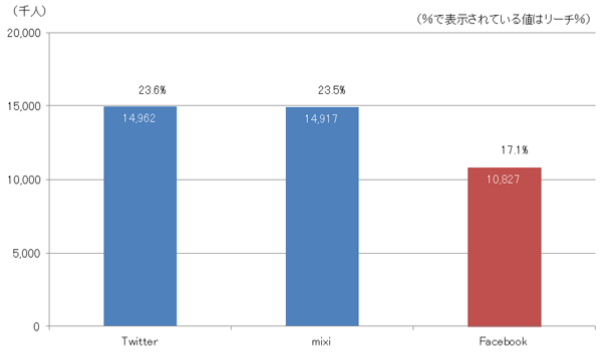
Facebookは、ユーザー数が、世界で8億人を超える。1日のアクセスは5億人。（2011年9月26日時点）

個人が、実名で登録し、実際に知っている人としかつながらない使い方が全世界で支持を得る。

厚生労働省委託 在宅就業者総合支援事業
在宅ワークセミナー（実践編）

Web最新動向： 日本でのSNS利用状況

図表1 主なソーシャルネットワーキングサービスの月間利用者数
（2011年8月 家庭と職場のPCからのアクセス）



※リーチ%…インターネット利用人口を母数とした利用者の割合

出典：NetRatings 2011年8月調査

2011年8月のインターネット利用動向調査によると、日本における Facebookの利用者数が1,000万人を突破、ネットユーザーの17%が利用

Web最新動向： 企業が続々と作成するFacebookページ

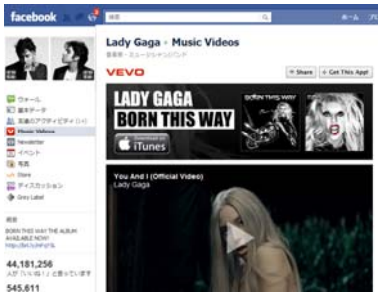
通常の企業HP

Twitterとも連動

●企業が第2のホームページとして続々と作成。
●使う人が実名で登録しているため、属性が正確でマーケティング効果が高い。
●購入の機能や、写真、動画、ゲームアプリを搭載できるなど自由度が高い上に、Facebookページ内でおすすめしあうことにより、企業名やサービス名を一気に拡げられる利点がある。
●USでは既に、Google検索よりも、Facebookのwebアクセス率が上回っている。

厚生労働省委託 在宅就業者総合支援事業
在宅ワークセミナー（実践編）

Web最新動向：映画やアーティストもFacebookページを活用



Web最新動向： ゲーム要素の強いFacebookページも続々登場

ポカリスウェットのIQチェック

Suntory Whiskyzの友達チェッカー

最近では、Facebookページを自由に編集できるようになり、ページ作成の難易度が上がってきたため、作成や運用を外部に依頼する企業が増えてきている。

厚生労働省委託　在宅就業者総合支援事業
在宅ワークセミナー（実践編）

Web最新動向　ゲームやプロモーション用のFacebookアプリも続々登場

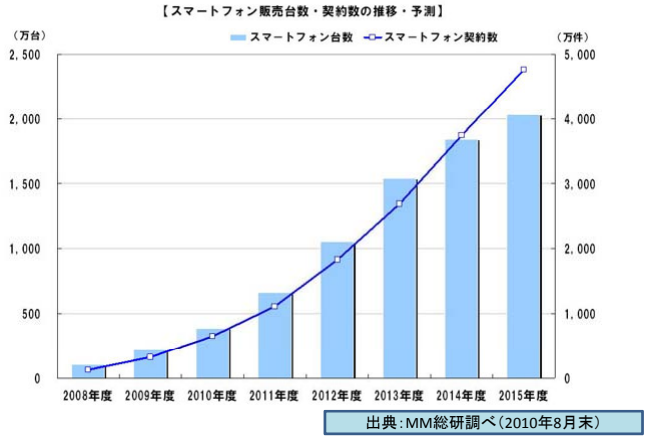
JaveOneのプロモーション用Facebookアプリ

ゲーム会社Zyngaが提供するFacebookアプリ

世界中の利用者がいることに加え、利用率が非常に高いので、今後も新しいアプリやサービスが増えるのは確実と言われている。

モバイル最新動向　ガラケーからスマートフォンへ

モバイル最新動向：スマートフォンの販売台数比率は2015年には54.6%に。



出典：MM総研調べ（2010年8月末）

2011年度が660万台、2012年度が1050万台、2013年度が1539万台、2014年度が1840万台、2015年度が2030万台で推移すると予測し、2015年度には携帯電話の販売台数に占めるスマートフォン販売台数比率は54.6%になると予測している。

モバイル最新動向　ツールからゲーム、プロモーション等多くのアプリが誕生

今後も、スマートフォン向けのアプリケーション開発が進む。今までガラケーで使われていたサービスは急速にスマートフォン向けのアプリに代わってきている。

14:30～ 第2部

「在宅ワーカーのためのグループワークの進め方」

講師：田澤由利氏

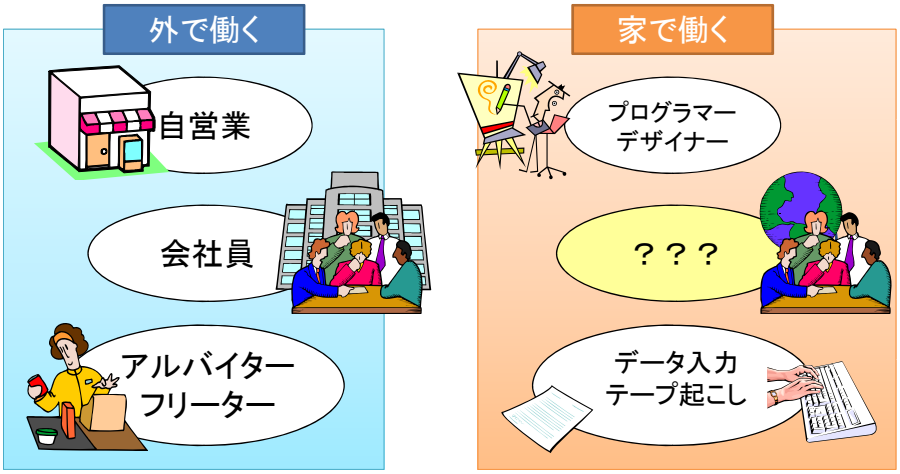
株式会社ワイズスタッフ 代表取締役

株式会社テレワークマネジメント 代表取締役

15:40～ 質疑応答

16:00 終了

どうして、家で働くと仕事が限られるのだろう？

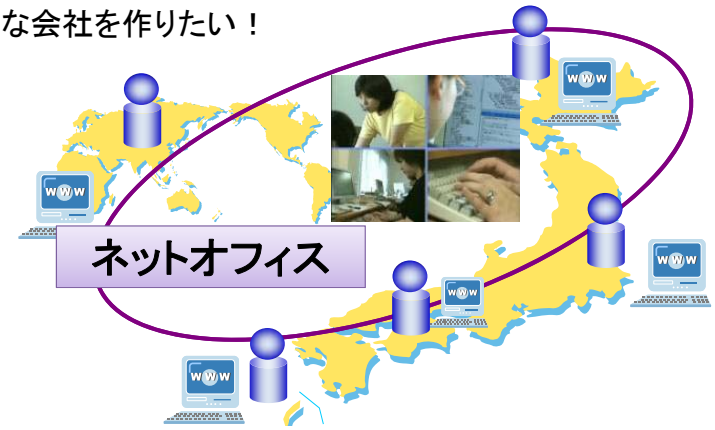


ネット上に会社を作ればいいんだ！！

20

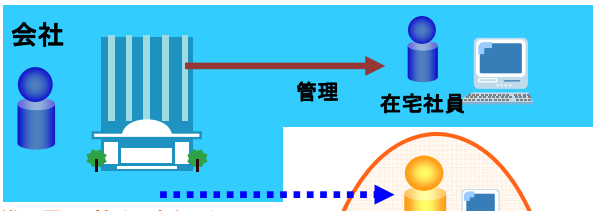
ネットオフィスとは

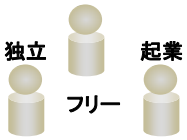
- インターネット上に会社を作れば、
  働く人はもちろん、経営者さえも、場所に縛られない・・・
- 家にいても、会社のように働くことができる
- 自宅で仕事をしていてもひとりでない。上司や働く仲間がいる
- そんな会社を作りたい！



21

ネットオフィス型テレワークに適した人材



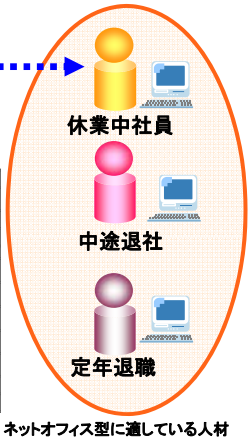


独立性が高く、自分でこなせるタイプのワーカーはネットオフィス型には適さない傾向がある

会社組織に属し、協力しあうことで、能力を発揮できるワーカー（労働力）が、多く埋もれてしまっている

平成20年度(2008年度)	男女計	男	女
非労働力人口	4388万人	1447万人	2941万人
うち就業希望者	454万人	120万人	335万人
適当な仕事がありそうにない	149万人	42万人	107万人
近くに仕事がありそうにない	30万人	7万人	23万人
自分の知識・能力にあう仕事がありそうにない	21万人	9万人	12万人
勤務時間・賃金などが希望にあう仕事がありそうにない	56万人	10万人	46万人
今の景気や季節では仕事がありそうにない	11万人	5万人	6万人
その他適当な仕事がありそうにない	31万人	11万人	20万人
家事・育児のため仕事が続けられそうにない	115万人	1万人	116万人
健康上の理由	67万人	25万人	42万人
その他	107万人	46万人	61万人

労働力調査詳細集計（速報）平成20年平均結果の概要〈総務省〉
http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/nen/dt/



ネットオフィス型に適している人材

テレワークで仕事をする

**人口減少
労働力不足
地域格差
少子化
高齢化
に対するソリューション**

日本の社会構造に適したテレワーク（ネットオフィス型）を推進することで、日本が抱える、さまざまな社会問題に対するソリューションとなり得る

22

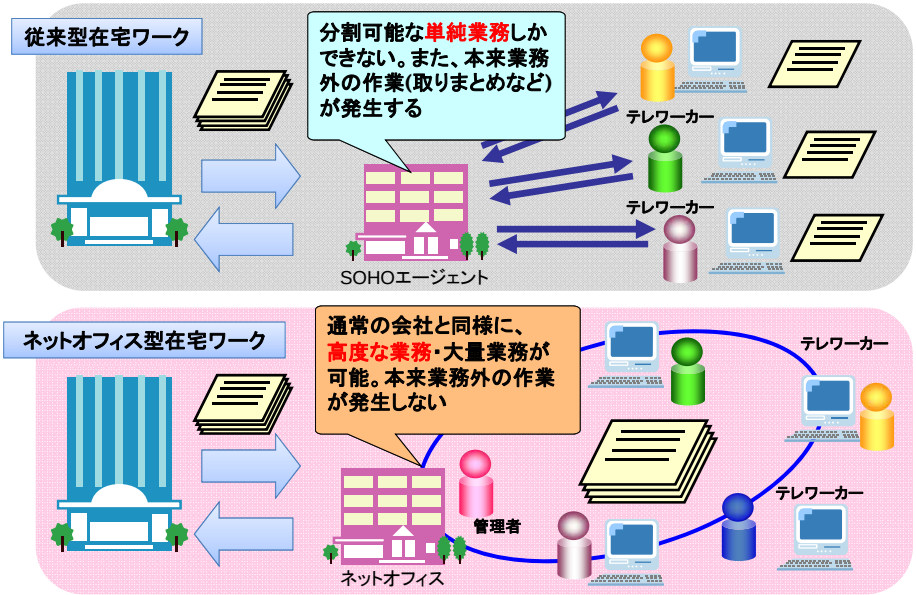
ワイズスタッフのご紹介

- **1998年創立以来、「ネットオフィス」を推進・実践しています**
  - 日本全国のみならず海外にも在住するテレワーカーが、一般的な企業と同様に案件ごとにプロジェクトチームを組み、業務を確実に遂行。ホームページ制作・ネットリサーチ・執筆など、プロフェッショナルな業務から、短期間の大量業務まで、テレワークマネジメントのもと「ネットオフィス」を実践しています。

北見オフィス

テレワーカーがメインワーカーです

従来型とネットオフィス型在宅ワークの比較



ワイズスタッフの主な業務内容

ホームページ制作・運営

メールマガジン制作

ネットリサーチ

ネットプロモーション ブログ運営

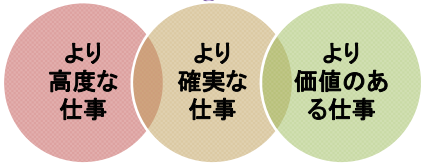
編集・執筆

切り分け可能な業務だけではありません！

なぜグループワークか?

企業のニーズ	ワーカーのニーズ
• コストを抑えたい • 高い品質で納品してほしい • 急な仕事に対応してもらいたい • 期日を守ってほしい	• 高い報酬を得たい • 無理な仕事はしたくない • 自分の得意な仕事をしたい • 家庭も大事にしたい

グループワーク



企業ニーズに
応えることで、
魅力を高め、受注へ

在宅就業におけるグループワークのポイント

リーダーシップ
- 誰が決定権を持つか
- 誰が進行の責任を持つか

役割分担
- それぞれの能力を最大限に生かす
- 責任をもって自分の仕事をする

信頼
- あの人ならきっちり仕事をしてくれる
- トラブルが発生したときに助け合う
- みんなで仕事をしているという意識を持つ

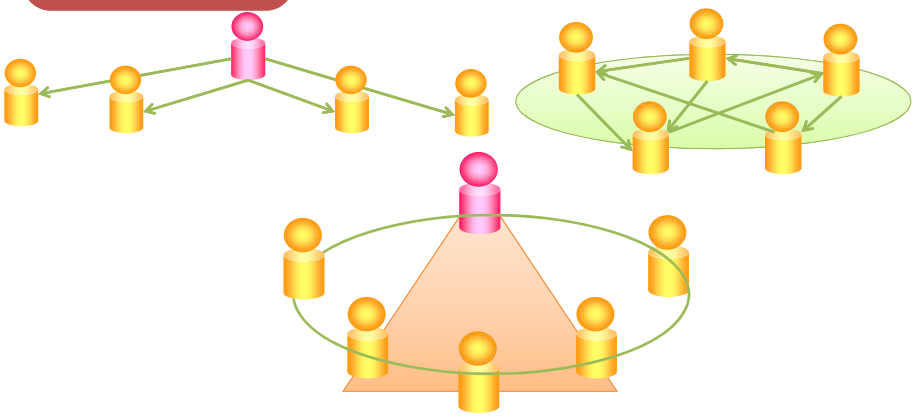
コミュニケーション
- 仕事全体に求められているものは何か
- 誰が何を、どんな風にすすめているか
- 相互チェックができる

27

厚生労働省委託 在宅就業者総合支援事業
在宅ワークセミナー（実践編）

在宅就業におけるグループワークのポイント

リーダーシップ
- 誰が決定権を持つか
- 誰が進行の責任を持つか

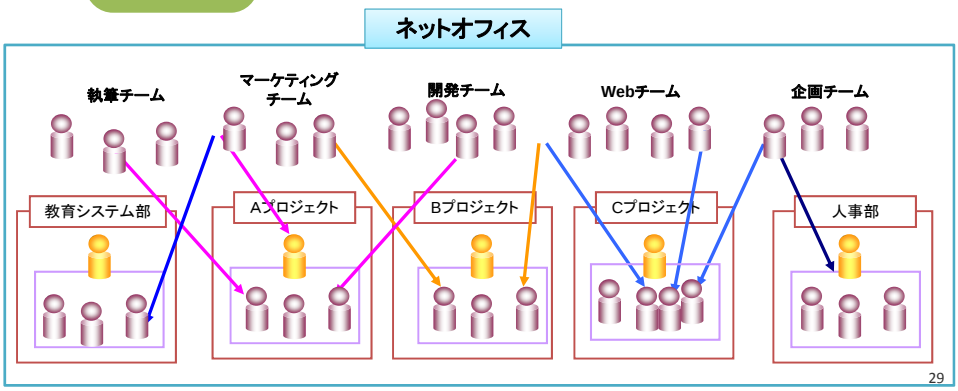


28

在宅就業におけるグループワークのポイント

役割分担

- それぞれの能力を最大限に生かす
- 責任をもって自分の仕事をする



29

厚生労働省委託 在宅就業者総合支援事業
在宅ワークセミナー（実践編）
在宅就業におけるグループワークのポイント

信頼

- あの人ならきっちり仕事をしてくれる
- トラブルが発生したときに助け合う
- みんなで仕事をしているという意識を持つ

- **面接で必ず「会う」**
- **5周年記念イベント**
  10周年記念イベント
- **エリアミーティング**
  (毎年全国5か所+ネットで開催)

ネットで働くからこそ、「会う」ことにこだわる

30

在宅就業におけるグループワークのポイント

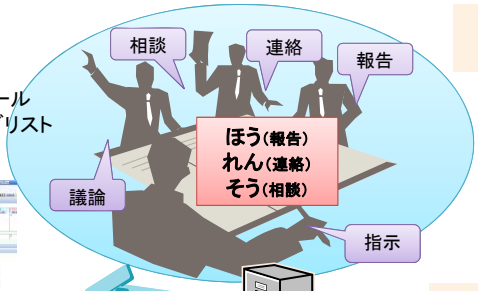
コミュニケーション

- 仕事全体に求められているものは何か
- 誰が何を、どんな風にすすめているか
- 相互チェックができる

通常連絡

スケジュール
メーリングリスト
費用申請

IP電話
スカイプフォン
サイボウズ



キャビネット
業務資料
回覧資料

リアルタイムコミュニケーション

スカイプ　グループビデオ
メッセンジャー (Skype)

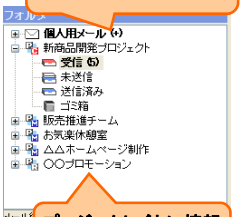
情報共有

サイボウズ

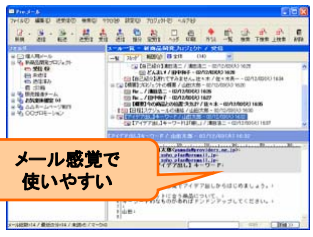
【事例】ワイズスタッフの「ほうれんそう」

- (使いやすい)メールをベースにした
  チームで仕事をするためのコミュニケーションツール「Pro.メール」

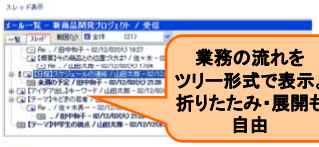
通常メールとプロジェクトを同時処理



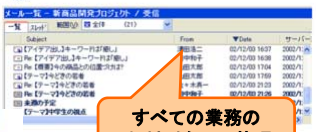
プロジェクトごとに情報を管理



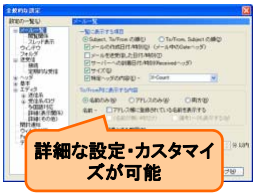
メール感覚で使いやすい



業務の流れをツリー形式で表示。折りたたみ・展開も自由



すべての業務のやりとりを一元管理



詳細な設定・カスタマイズが可能

業務コミュニケーションツール
Pro.メール2.0

弊社では、150名のテレワーカーによる、60以上のプロジェクトを運営

高度な業務を数多く受注
↓
売り上げの増加

特許番号　**特許第3363144号**
発明の名称
「通信システム及びコミュニケーション支援方法」

情報処理推進機構（IPA）2007年度「中小ITベンチャー支援事業」

【事例】メールのルール

メールのタイトルに「誰から誰へ」と「本文の趣旨」を記載する

新しい話題は「新規作成」、返事をする場合は「返信」する

口頭も、電話の内容も、チャットも、すべてのホウレンソウを記録する

誰から誰へ　　本文の主旨

【田中>佐藤】　打ち合わせ報告書の作成

※佐藤さんから田中さんへ、〇〇プロジェクトの報告書作成を指示するメールであることがわかります

Re:　Re:【田中>佐藤】　打合報告書の作成

※佐藤さんと田中さんの間で、特に問題なく話がすすんでいることがわかります

Re:【佐藤>田中】来週作業/　打合報告書の作成

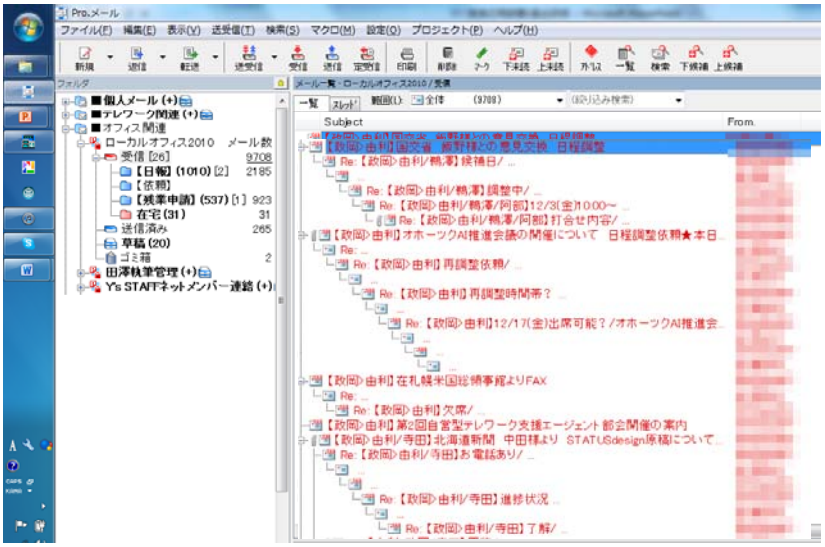
※佐藤さんが田中さんに、「来週作業」になることを伝えていることがわかります

Re:【佐藤>山田】　グラフ作成/　打合報告書の作成

佐藤さんから山田さんへ、グラフ作成を依頼

33

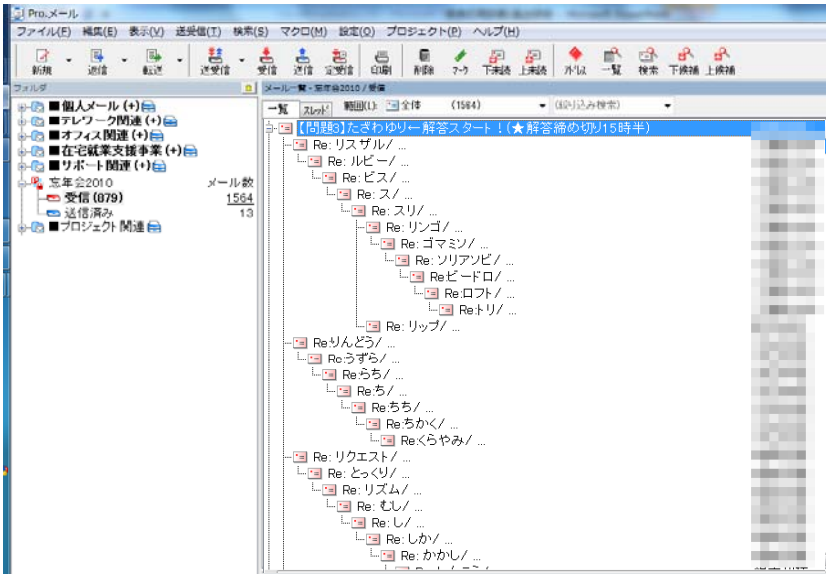
田澤の仕事用Pro.メールを・・・



34

在宅ワークセミナー（実践編）

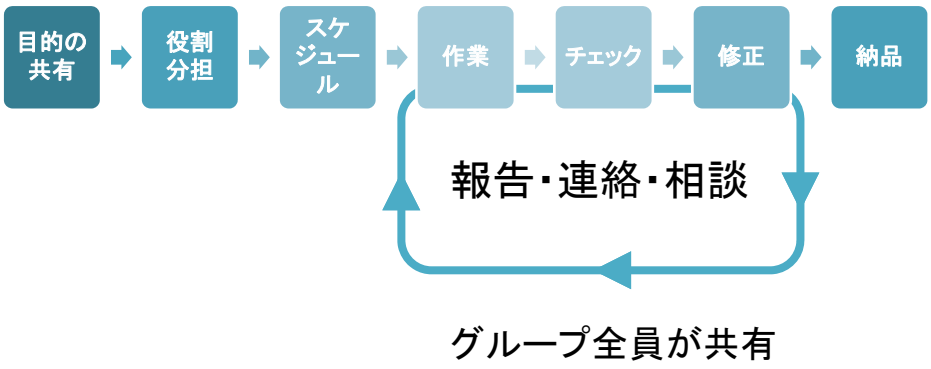
【オマケ】ネット忘年会のしりとり



35

在宅ワークセミナー（実践編）

ワイズスタッフでの仕事の進め方



36

グループワークにおすすめのツール

グループウェア
- サイボウズLite

メッセンジャー
- スカイプ
- Yahoo！
- Windows Live

電話
- IP電話
- スカイプ

Web会議
- スカイプ グループビデオ
- Google+ ビデオチャット「Hangouts」

メーリングリスト
- Googleグループ
- Yahoo!グループ

書類置き場
- Dropbox
- エバーノート

その他
- Facebook
- Google+